

winmail.dat 添付ファイルのトラブルシューティング

目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[winmail.dat 添付ファイルのトラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

この技術情報は Microsoft Exchange インターネット メール コネクタを使用するとき Exchange サーバ 管理者がエンドユーザがどのように winmail.dat 添付ファイルはインターネットユーザに送信されることを防ぐことができるか記述します (IMC)。この添付ファイル ファイルは unscannable として Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) を通って処理されたとき見られるかもしれません。

背景説明

マイクロソフトのサポートから、エンドユーザが Exchange Windows または Outlook クライアントからのインターネットにメールを送信するとき、「Winmail.dat と呼ばれるファイルの添付はメッセージの終わりに受信者のクライアントがリッチテキスト フォーマット (RTF) のメッセージを受け取ることができない場合自動的に追加されるかもしれません。Winmail.dat ファイルはメッセージのための Exchange サーバ RTF 情報が含まれ、受信者にバイナリファイルとして現われるかもしれません。それは非交換サーバ受信者に役立ちません」。

またマイクロソフトのサポートからリッチテキスト フォーマット 情報が含まれているリッチテキスト フォーマットを表示することができない、「Microsoft Outlook を使用しないかまたは豊富なテキスト形式わかっているクライアントアプリケーションが受信者および Winmail.dat ファイルは電子メール メッセージに接続されます」。詳細については次のマイクロソフトのサポート技術情報を検討して下さい: [『XADM: クライアントの設定に関係なくすべてのインターネットメッセージに接続される Winmail.dat』](#)

winmail.dat 添付ファイルのトラブルシューティング

winmail.dat 添付ファイルは非交換クライアントに無益です。ESA および Sophos アンチウイルス スキャンから、ファイルは unscannable 評決という結果に終わります。これは ESA か Sophos の結果としてエラーまたは問題ではないです。unscannable 評決はファイルのオリジナル作成およびエンコードが支配された原因です。

マイクロソフトのサポートはファイルの添付が送信されることを防ぐために詳細を提供します。次のマイクロソフトのサポート技術情報を検討して下さい: [Winmail.dat ファイルがインターネットユーザに送信されることを防ぐ方法](#)

Sophos サポートはまた次の winmail.dat ファイルの添付問題をカバーします:

- [Winmail.dat ファイルとは何か。](#)
- [TNEF によって符号化される添付ファイルは Sophos UTM 電子メール暗号化によって復号化](#)

[することができません](#)

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [Cisco セキュリティ管理アプライアンス - エンドユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)